

2022年度改正点・修正点

競技規則制定から35年を迎え、競技規則は、6・9人制バレーボールの長所を生かしながらソフトバレーボールの本質である「いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも」に沿い、適合したものとなるよう心掛け編集にあたり、一部の付則を競技規則に組み入れた。

なお、小学生競技規則においては、この競技規則を基本としたうえで、小学生に特化した内容にまとめた。

以下が本年度の主な改・修正点である。

● 修正点

1. これまで付則としていた、審判員の責務および公式ハンドシグナルの内容を、第7章として競技規則に組み入れた。

第7章 審判員の責務および公式ハンドシグナル

25 審判団

第9図 審判団の位置

26 主審

26.1 権限 26.2 責務

27 副審

27.1 権限 27.2 責務

28 記録員

28.1 試合およびセット開始前

28.2 試合中

28.3 試合終了時

29 線審

30 点示員

31 主審と副審の公式ハンドシグナル（第10図）

31.1 主審と副審のハンドシグナル

31.2 主審が吹笛した場合のハンドシグナル

31.3 副審が吹笛した場合のハンドシグナル

32 線審のフラッグシグナル（第11図）

2. 第1章 施設と用具

1 競技場

(1) 1.1.2 競技場の表面から最低7mを、最低限7mに修正した。

(2) 第1図に、ショートサービスゾーンの表記とサービスゾーンとショートサービスゾーンの範囲を加え、また、ラインの幅を表記した。

3. 第10図 主審と副審の公式ハンドシグナル

審判員の責務および公式ハンドシグナルを競技規則に組み入れたことから、適用条項より一般・小学生同等の字句を削除、条項の一部を修正した。

4. 第11図 線審のフラッグシグナル

審判員の責務および公式ハンドシグナルを競技規則に組み入れたことから、適用条項より一般・小学生同等の字句を削除、条項の一部を修正した。

5. 小学生競技規則は、次の構成とした。

(1) 施設と用具

(2) チームのラインアップシート

(3) 試合の進行